

計画事業番号	00659	事務事業名	汚泥有効利用推進事業	担当部署	水道部下水処理センター	電話	7213
--------	-------	-------	------------	------	-------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項 肥料取締法施行規則第11条			
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 6 節)	下水道の整備
	(施策 2)	発生活泥の有効利用
2 対 象	下水処理センターから発生する下水汚泥(乾燥汚泥)	
3 目的と内容	下水処理センターで発生する汚泥を乾燥し、肥料として、市内農業者(乾燥おでい農地利用組合員)への提供、町内会や小中学校などが実施する花壇作りや環境整備などの公共用への提供、一般市民への還元などにより有効利用を図るとともに、汚泥量の増加に対する新たな利用先の拡大を図る。 また、肥料取締法の基準に適合した安全な汚泥肥料として緑農地還元を行っていくため、バイオマス(下水道、生ごみ、し尿・浄化槽)汚泥等の重金属等含有量分析を行う。	
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・市内農業者(乾燥おでい農地利用組合員)への提供(4月～3月) ・町内会、保育園、小中学校などが実施する花壇作りや環境整備など公共用への提供(4月下旬～5月中旬) ・家庭菜園用肥料として、一般市民への還元の実施(4月中旬の2日間) ・乾燥汚泥肥料の利活用PRのため「北広島環境ひろば(6月下旬)」や「元気フェスティバルinきたひろしま(9月中旬)」のイベントへの参加、その他市の広報紙やホームページ、新聞等への掲載 ・肥料取締法の基準に適合した安全な肥料の供給を維持するため、汚泥等の重金属等含有量分析調査の実施
	2 9 年 度	肥料取締法の基準に適合した安全な乾燥汚泥肥料を提供するため、引き続き汚泥等の重金属等含有量分析を実施する。 100%緑農地還元を継続実施するため、北広島市乾燥おでい農地利用組合員の拡充を図る。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
乾燥汚泥肥料の農地利用	農地利用 (629t)	乾燥汚泥肥料の農地利用	乾燥汚泥肥料の農地利用	乾燥汚泥肥料の農地利用
乾燥汚泥肥料の公共利用	公共利用 (3t)	乾燥汚泥肥料の公共利用	乾燥汚泥肥料の公共利用	乾燥汚泥肥料の公共利用
乾燥汚泥肥料の市民還元	市民還元 (72t)	乾燥汚泥肥料の市民還元	乾燥汚泥肥料の市民還元	乾燥汚泥肥料の市民還元
汚泥等の重金属等含有量分析調査の実施	汚泥等の重金属等含有量分析調査の実施(4回)	汚泥等の重金属等含有量分析調査の実施	汚泥等の重金属等含有量分析調査の実施	汚泥等の重金属等含有量分析調査の実施
乾燥汚泥の運搬保管	乾燥汚泥の運搬保管	乾燥汚泥の運搬保管	乾燥汚泥の運搬保管	乾燥汚泥の運搬保管

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	発生する下水道汚泥は、肥料として100%緑農地還元を実施しており、今後も継続する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			2,231		2,906		2,906		2,906	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	788		1,009		983		983	
		一般財源	1,443		1,897		1,923		1,923	
		① 合計	2,231		2,906		2,906		2,906	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	4,200	0	4,200	0	4,200	0	4,200	0
総事業費①+④			6,431		7,106		7,106		7,106	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 乾燥汚泥肥料の市民還元	目標値	t	70	70	70	70
		実績値		72			
	② 乾燥汚泥肥料の農地利用	目標値	t	630	660	660	660
		実績値		629			
③ 乾燥汚泥肥料の公共利用	目標値	t	10	10	10	10	
	実績値		3				
成果指標	① 緑農地還元率	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
	② 緑農地還元量/発生汚泥量	目標値					
		実績値					
	③	目標値					
	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	下水道事業の一環であるため、事業者が実施しなければならない。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	発生する下水道汚泥は、肥料として全量(100%)緑農地還元を実施している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	既に100%を達成している。なお、100%を維持するため、乾燥おでい農地利用組合員の維持・拡大が必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	バイオガス利用によるコスト削減を実施しており、更に大幅なコスト削減は困難。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---